



全国(国・数・理)・県(英)学力調査がありました

先週19日と20日に全国学力状況調査・県学力調査がありました。中学校では新学習指導要領になって2年目、今年度から高等学校の学習指導要領も新しくなったことを受けて、今、求められている学力をはかる問題が多く出題されていました。基本の問題はもちろんですが、国語科では、オンラインでの4校の学校の代表のやりとりが出題されたり、数学科や理科でも言葉で記述する問題が出題されたりと、「言葉での表現力」を意識したものでした。今回の調査は、皆さんの学力を分析し、今後の授業に生かして、求められている確かな学力を伸ばしていくことを目的としています。私たち教員一同、これからの授業で、皆さんの力をぐいぐい伸ばせるよう頑張っていきます。皆さんは、一日一日の授業を大切に、自分の学力をしっかりと伸ばしていきましょう。

「寝る子は育つ。」いえいえ、「寝る子は合格する。」のです！

昔から、「寝る子は育つ。」と格言のように言われてきましたが、3年生を担当していると、「寝る子は合格する！」という思いを強くします。受験生と言えば、「寝る間を惜しんで勉強する！」というイメージがある人も多いと思いますが、睡眠時間が短かったり、睡眠のリズムが悪かったりすることのリスクは大きいのです。「塾の宿題に追われて、寝るのが遅くなりました…」「ついつい、ゲーム(SNSなど)の時間が長くなって、勉強を始めるのが遅くて…」と、授業中に眠そうにしている生徒やなんだかぼーっとして集中していない生徒に話しかけると、よく返ってくる言葉です。そのような調子では、もちろん授業の内容は頭に入らないでしょうし、通知表の評価の観点にある「学びに向かう姿勢」も低調になって、成績が伸び悩んでしまいます。それに対して、よい睡眠がとれていれば、頭もクリアに働くので理解が進み、能動的に授業を受けることができ、成績が伸びていきます。調査書(高校に提出する中学校3年間の成績)もばっちり、入試もしっかり解けて高得点!となって、みごと合格。だから、「寝る子は合格する!」のです。ゴールデンウィークがやってきます。くれぐれも、睡眠のリズムが崩れるような過ごし方はしないようにしましょう。

とてもよい信頼関係を築いてきたのですね。

国語科の授業開きで、「比喻を使って、学年の先生を紹介しよう」という問題を出題しましたが、この答えからは、この3年間で、皆さんと先生方がよい信頼関係を築いてきたことが垣間見られました。皆さんの解答の一部を紹介します。

3年1組担任

三浦梨沙 先生

- ・三浦先生は、影のように生徒たちに寄り添い、太陽のように生徒のよいところを照らしてくれる。(Tさん)
- ・三浦先生は、インターネットのようにいろいろなアドバイスをくれる。(Mさん)

3年2組担任

松島航輝 先生

- ・松島先生は、わかりやすく教えてくださいるので、私たちはスポンジのように知識を吸収できます。(Hさん)
- ・松島先生は、私たちにとって「森の御神木」だ。(Yさん)

3年3組担任

段口亜耶 先生

- ・段口先生は、タカのように目を光らせて、私たちの良いところや注意するところをしっかりと見ている。(Aさん)
- ・段口先生は、お布団のように優しく包んでくれる。(Iさん)

他にも、たくさんのすてきな比喻で、先生方の紹介をしていましたが、いずれの文からも、時には厳しく、時には優しく、生徒たちに寄り添う先生方の姿と、それを受け止め応えようとする生徒の皆さんの姿が見えてきました。これから、進路の実現に向けて、三者面談など担任の先生と話すことも多くなります。しっかりと信頼関係が築けていれば、きっと納得のいく進路選択ができることでしょう。